
暗闇遊戯

青芽野 霽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ
テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または
は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ
ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範
囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し
ます。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

暗闇遊戯

【Zコード】

Z3689Y

【作者名】

青芽野 霽

【あらすじ】

真夜中。何も見えない闇の中で目を覚ました僕は、女達の悲鳴
と、男達の笑い声を聞く。死んだように眠っている隣の人、響く男
の声、狂ったように笑う男女。君は、この謎の惨劇の真相に辿り着
けるか？

これは明日の生死をかけた戦い。周りは全て敵のバトルロワイヤル。一撃もあればそれ即ち死。さあ……闇の遊戯のはじまり、はじまり……

悲鳴が聞こえる。女の声だ。酷い金切り声。長く耳障りなその声は、黒板を引っ搔く音を想起させる。

笑い声がする。こちらは男だ。楽しそうに、愉しそうに、笑つて笑つている。

僕はその声に目を開けた。真夜中、真っ暗な大広間の真ん中、大量に敷いてある布団の上で僕は寝ていたようだ。ぼーっとした頭では、それを思い出すのにも時間がかかった。部屋の周囲から、笑い声と悲鳴が聞こえ続けている。

ふと、右手が温かい何かに触れているのを感じた。なんだ?と思つて近づく。呼吸音がする。どうやら、人のようだ。

「大丈夫?」

声をかけるが、反応が全くない。まるで、これじゃあ、死んで……

ドサッ、と僕の近くで何かが倒れる音がした。手探りで近づく。触ると、その女は怯えたような声を出した。

「安心して、何もしないよ。大丈夫?」

「嫌……嫌……あ……」

そう言つと、事切れたかのように倒れてしまった。呼吸はあるよ

うだが、一体どうしたのだろう？

何が起きてるのか探ろう。好奇心の強い僕は、その思いと共に枕を持つて立ち上がった。

瞬間、風切り音と共に、耳元を何かが掠つた。

「うわ！？」

僕は慌てて伏せる。何だ今のは？

すると、男の笑い声が一際大きくなり、こう叫んだ。

「大分犠牲者が増えたようだな。では、これからより熾烈な本戦を始める！」

犠牲者？ 本戦？ 何が何やらわからない。僕は伏せ続ける。

「……開始！」

男女関係なく混じり合つた笑い声が聞こえ始めた。狂つたように笑っている。時折混じる悲鳴。

わからない。見えない。だから恐怖は加速する。怖い怖いこわい「ワイワイ……っ！」

誰かが近づく足音がする。

一步、一步、踏みしめるようなその音に吐き気がする。

そいつは僕の真横で立ち止まつたようだ。僕は枕を握りしめた。

恐怖で冷や汗が滲む。

「オマエ、オキテルナ?」

血の気が引く。何故この暗闇でわかる？ 殺される？ さつきの二人が思い浮かぶ。
死にたくない。
死にたくないっ！

僕はとっさに立ち上がり、手に持った物で相手を殴りつけた。やつてしまつた。僕はそう思った。今の行動のせいでの逆鱗に触れ、さつきの死んだように眠る一人と一緒に、いや、それ異常の酷い目に遭うのだ。

「グワアアアッ！」

だが、その予想は外れた。苦しそうに叫んでそいつは倒れたからだ。

何故だ？ 僕はそいつを殴つた物の感触を確かめる。枕だ。確かに枕だ。

だが、だがもし違つたら？ 何も見えない暗闇で、何故確かに枕だ、とわかる？

僕はひつ、という悲鳴をあげて、“それ”を放り投げた。

もう嫌だ、嫌だ！ 誰か、誰か助けて！

その時、真っ暗な部屋に急に光が差し込んだ。静まる部屋。眩し

いが薄目でそつちを見ると、人影がひとつ入ってくるのがかろうじでわかつた。

それが右手をあげると、パチッという音とともに、部屋が明るくなつた。眩しさに目がくらむ。そして、入ってきた人影は声を張り上げてこう言った。

「こんな時間に何で枕で殴り合ひなんてしてるんですか！」

僕は安堵した。なんだ、枕で殴り合つていただけか、と。そうして、僕はまだぼーっとしている頭で眠りについたのであつた。

……ちなみに、最初に僕が右手で触れていたのが、クラスの美少女マイナちゃんの、非常に、非常に慎ましい胸であった、というのは、僕だけの秘密である。

(後書き)

企画競作第一段。
お題「枕」

企画競作に興味ある方は、小説家になろう「ひりう」で企画競作するスレ
[Part3 \(http://yuzuru.2ch.net/test/read.cgi/mitemite/1319658024/150\)](http://yuzuru.2ch.net/test/read.cgi/mitemite/1319658024/150) に是非。

最後遊びました。主人公羨ましいぜ！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3689y/>

暗闇遊戯

2011年11月15日15時40分発行